

全体会・午前の部

司会者 午前の部の司会を担当させていただきます，松茂中学校2年のg，松茂中学校2年のhです。よろしくお願いします。(拍手)

それでは早速パネルディスカッションに移りたいと思います。パネリストはiさん，jさん，kさん，コーディネーターは吉成正土さんです。どうぞよろしくお願いします。



吉成 おはようございます。今日，前に3人いるんですけど，3人にお話をこのあとしてもらいます。ちょうどこのあと自己紹介を3人にしてもらいますが，今高校3年生なんです。3年前に，ちょうどみんなと同じ場所にいたりとか，ステージでしゃべったりしてくれました。そのときの報告書がこれになります。今回のもこんな形で冊子にしますので，みなさんのしゃべった内容や感想文なんかも，ここに載っていきます。ちょうど3年前のこのときに，今のこの3人が，実行委員長として活躍してくれたわけです。そのときに，みなさんから見て一番右側にいる，kさんという，はい手挙げてください，kさんが実行委員長をしていたんですけど，そのときも彼女には，ここで話をしてもらったんです。その年っていうのが，実はこの会がちょうど20年目のときだったんです。それが3年前ですから，今年で23年目ということになります。23回目っていうことです。20回目っていうことでね，記念大会と位置づけて，そのときの実行委員長と，第1回の実行委員長にも登壇し

てもらったんですよ。1さんという方に登壇してもらって，第1回の実行委員長と第20回の実行委員長にここに座ってもらって，話をそれぞれしてもらいました。ですから，当時何歳ですかね。15歳でしたか。15歳と，たす20，35歳。35歳が壇上に立って，一緒に話をしてもらいました。その第1回の実行委員長だった1さんが第1回るときにした会場がここだったんです。だからこの会場っていうのは，ある意味すごく記念すべき会場なんです。第1回の会場がここだったんです。そのときに実行委員長だった1さんに3年前に話をしてもらって，そのときに同じ舞台上が上がってもらったkさんに，高校生活最後っていうことでね，改めて舞台上が上がってもらったし，その当時の仲間だった2人にも一緒に登壇してもらいました。もう1人参加してほしい人もいたんですけども，今日模試ということで，残念ながら参加できなかった子もいるんですけど，きっと今頃は国語？英語頑張ってくれてると思うんですね。だからみなさんも，3年後，4年後，5年後っていうのは，そんな状態なのかもしれません。身近なモデルとして今から話を聞いてもらえたらと思っています。ちなみに今日のコーディネートをさせてもらう，私，徳島市八万中学校で教員をしております吉成といいます。よろしくお願いします。



それではこのあと簡単に3人から自己紹介を，それぞれ短くしてもらいます。それぞれ短くしてもらったあと，15分から20分ぐらいかな，思いの丈をそれぞれに3人話をして

もらって、それが終わった 11 時半くらいから、みなさんにもマイクを持って感想とか意見とか質問とか、いろいろなものを受け付けようと思いますので、何を言おうかなって思いながら聞いていてください。どんな感想もったかなっていうことを考えながら聞いてほしいなと思います。質問も構いませんので、しっかりと目で、耳で、心で聞いていてもらえたらと思いますので、よろしくお願ひします。それじゃあ 1 人目から自己紹介していきますので、どうぞ聞いてください。j さんです。お願ひします。



パネリスト j 鳴門高校から来ました、j です。元大麻中学校で、今後輩がほこにおるんやけどね。みんな可愛らしいね。ボクんときは後ろにおられる沖先生と佐川先生にお世話になりました。ありがとうございます。ボクが中学生交流集会に参加した理由は、元々兄が参加していて、兄が自慢のように言うてるんですよ。友達できたわみたい。うっとうしいなと思ひながら聞きよったけど。ボクも参加してみても、県外の友達ができたり、こうやって k ちゃんや i とか。i は高校も一緒やけんね、ずっと長いですよ。言えば一生ものの友達ができるんで、ほんまに参加してよかったなって、今になって思ひます。みんな続けてな、以上です。

吉成 それじゃあ 2 人目の自己紹介をお願いします。i さんです。

パネリスト i i です。j と同じく鳴門高校

に通っています。出身中学校は徳島市応神中学校で、中学校のときは吉成先生にお世話になっていました。この会に参加したきっかけは、吉成先生にすごくアピールされてっていうのと、親が昔人権の活動してたとかで、それもあって参加することになって。とりあえず行ってみようかなって来てみたら、結構楽しくて、卒業してからもちよくちよく顔を出すようになって。まあここでの出会いはね、j も k ちゃんもそうやけど、同じ中学校の子よりも結構話聞いてもらったりとかって多くて。k ちゃんとかほとんど、この会に来んかったら出会わんかったらだろうなって子やし。でもめっちゃ話するしっていうんで、この会での出会って結構大きいものになるから、この会でいろんな人と交流して、友達いっぱいつくってもらえたら嬉しいなって思ひます。簡単ではありますが、以上です。

吉成 それじゃあ 3 人目になるんですけども、k さんです。とりあえずは自己紹介ですよ。短くね、お願ひします。



パネリスト k こんにちは。藍住中学校出身の、今徳島北高校に通っています、k です。きっかけを言うと、小学校 6 年のときになるんですけど、小学校 6 年のときに森口先生が学校に、外部講師みたいな感じで来てくださって。今森口先生が見当たらんのやけど、どこにおるんだろ。「アッと笑い、ドッと笑い」でしたよね、あのときの話って。それを話してくださって、ちょっと語り合いとかして下さって、そのときにしゃべったときに急に

名前聞かれて、中学校に入ってみたら、6クラスあるうちの自分のクラスだけ社会の先生が森口先生だって。ほんでほこからいろいろめっちゃ教えてもらったり、交流してもらったりして、この会のこと教えてもらって、参加するようになって、ていうんが大元のきっかけやけど。ほんまにさっきもiちゃんjくんも言ようみたいに。でも、もう1人今日来れなかった国府中学校出身の今城東高校に行きよるmちゃんていう子がおるんやけど、この4人はずっと一緒におる感じやし、いまだに話すし、たぶんこの会で自分のこと、ほんまのことしゃべっとるからこそある、独特のつながりみたいなんあるやんな。ほれで今でも楽しくおるんやなって思います。おわり！

吉成 よくできました。今は自己紹介だけだったので、このあと深く、それぞれに話をしてもらおうと思います。今3人に話をしてもらったんですけど、今回台風12号の影響で延期になって、この会がもしかしたら中止、できないっていうふうになりかけてたんです。正直なところ。だけど、中学校3年生の子のことを考えると、やっぱりどうしてもした方がいいだろうと思って、延期してでも開催することになりました。残念ながら人数が減ったりとか、鳥取とか福井の参加がなくて残念な思いはあるんですけども、今聞いてもらったように3人がどんな思いで、住んでる町も違う、出身中学校も違う、そのあと高校で一緒になったり別になったりもしたんですけども、それでも何でつながり続けてきたんかっていうことを考えると、やっぱり延期してでもやりたかったんです。どうしても。そのなかで、関係性をつくって、高校でも頑張っていってもらいたいなっていうエールを贈る意味で、今回延期してでもすることになりました。みなさんには大変迷惑をかけたんですけど。



このあと、なぜ、じゃあ3人がつながり続けてきたのかっていうことについて、より深く話をしてもらいますので、一番バッターは誰ですかね。jくん、今からしてくれる話の中に、そこら辺が垣間見えると思うから、思いの丈を話してみてください。

パネリスト j 昨日まで何も話すこと考えてなかった、昨日吉成先生にご飯食べに連れていってもらって。話しよるうちに、最近の話ね、ボクんちいろいろあって。もともとシングルマザーだってね。みんなお父さんお母さんおって、どういう家庭かは分からんけどね、詳しいことはね。けどボクはシングルマザーだって、きょうだいと今回はいろいろあって、絶縁状態っていう状況になって、ボクも高校行くのが嫌になったり、精神状態がづらくなってね。一瞬ウツになってたりしたんですよ。その話を吉成先生にしたら、アドバイスもらったり。先生も教師やけん、いろんな家庭を見てきたっていう話をしてくださったんね。いろんな話を聞いて、ボクよりひどいなって思ったこともあったよね。先生の話聞つきよって。「あ、この家庭の方が大変な思いしてきたんやな」とか。ボクも大変大変って言ようけど、まあ不自由はしてないわけね。母さんが頑張ってるって高校まで行かせてもらって、ほんまに感謝しとるし、ほんまに尊敬もしとるけど、やっぱりふと思うと、普通の家に生まれたかったなって思うことがあるんですよ。ほれを吉成先生に言ったら、「ほれは自分を卑下しとる」とかって言よったよ

な。ほれ聞いて、「いや、でも思ってしまうもんじゃあないで」って思って。「うらやましいもんはうらやましいんよ」って。なんぼあかんて言われても。何て言ったらいいんだろうな。みんな今思春期やん。だろ？思春期ぐらいやん。そしたら親のこと嫌いとかって思ったりするやろ。けどように考えてみて。



親はみんなのこと不自由させんために必死に働いてくれとるわけやん。ほれ考えたらちょっと反抗しづらいつもうんよな。オレずっとせんかったもん。真面目やったし、ほんまに。反抗したら親が悲しむと思って。ずっと病んどったけん、母さんも。ほんまに今までつらい思いしてこうやって働いてくれて、お金も不自由させんかったけん。先生と話しよるうちに、じゃあ自分がこういう経験したけん、自分が結婚できたらやけど、結婚して子ども産まれたら、自分の子どもには苦勞させたあないって思うんは普通のことですよって、ほれは別に卑下しとることじゃない。ほなけん何が正しいんかもよう分らんよね。別にシングルマザー、シングルファーザー、親がおらんかったり、ほれが悪いとは言わんけど、けど他の普通の、温かいじいちゃんばあちゃんおって、両親もおって、きょうだいも仲良くってっていうのうらやましいと思うよ、ほんまに。ボクも何回も思った。ほれで何回も泣いたこともあったし。人に八つ当たりしたこともあったけん思うけど。けどやっぱり……助けて。悪いことではないんでしょ、思うこと自体。

吉成 思うのは仕方ないからな。

パネリスト j でも、ほれを口に出すのはダメなん？

吉成 いや、別に口に出すのもいいと思うけど、誰にでも言う？それって。

パネリスト j オレは言わんかったけど、もちろん言う人もおるわね。うらやましいって。ちょっと振るけど、kちゃん。実体験聞いたらおるわけですよ。(吉成：そりゃ思うわな)でしょ。聞つきよって悲しいなります。ボクは。人に当たったけどね、ボクは。けどそれはもちろん謝ったし。まったく申し訳ないなっていうふうに思うけど。うん、何かどうしていいんか分からん。(吉成：今もそこに立ってる?)悩んどる。(吉成：悩んでるだけ?)ううん。母さんも今つらいんよ。だいぶ。もうほんまにボクのきょうだいね、我が息子と娘見たら心臓発作起こすようなぐらい、結構な感じやけん、まあ親子共々頑張っていこうかなって思ってるけど、それでも思うよ。やっぱり。うらやましいなって。終わった。

吉成 それをしゃべる、伝える相手っていうかな、誰でも彼でも言ってるわけではないように思うんやけど、そこの部分でどうだろ。

パネリスト j 家庭環境的にね、普通の一般家庭で考えたらあり得んことじゃないですか。ほなけん母親からは、あんまり言わんといてよって言われるんよね。けど何で言うたかっていうんは、このみんなもそうやし、ボクが参加しようときから、この場所は言いやすいんですよ、何でも。ほなけんこんだけ仲いいし、むっちゃ泣きそう。(吉成：いいよ)やめてください。男の涙なんて(笑)。いい友達もったなって思うし、ほんまにこの場所につなげていきたいけん、この場所だから

言えたことかなって思う。(吉成：この場所ってどんな場所?)ほなけん、みんながそれぞれ、何かしらの意見をもって参加してくれとるわけじゃないですか。人権意識高い、まあ言ったら高いんやね、参加してくれとるけん。少なからず自分の意志で来てくれとるじゃないですか。ちゃう?えっ、ちゃうの?(i：みんながみんなそうではないな)強制?(i：の人もおったりしなくもない)きっかけはな、けど参加してくれとることに変わりはないと。同志や、同志。言いやすいやん。先生もアレでしょ、ボクらには言いやすいとか。

吉成 そうだな。ここに来てくれるという前提があるから話しやすい、話せるっていうのは確かにあるかな。そりゃもっと細かく見ていかないといけなかったりするんやけど。中学3年生の子と1年生の子だったら、やっぱり学習してきた量が全然違うはずやから、中3の子に分かって中1の子にはちょっと分かりづらいついていうこともあるかもしれないし。だから、その差の中で、同じようなことぶつけても大丈夫かなって、細かく見ていけばそんなことはあるけども、けど基本それでも何しゃべってもいけるって言ったら、何か語弊あるかもしれんけど、ぶつけたい気持ちっていうか、ぶつけられるっていう、そういう気持ちはあるかな。

パネリスト k 何か、めっちゃいつも思うんやけど、ここに来てくれとる人って、ごっつい聴いてくれることない?すごい、それで心が通じ合える感じがせん?何か、あるよな。ほうやけん言えるし、自分も言い合えるし聞き合えるみたいな感じはある。

パネリスト j とりあえずぐちゃぐちゃになつたけど、何が言いたいかっていったら、自分の生まれてきた環境を後悔せんていう、こういう家庭がよかつたって思うんはいいけ

ど、親に言ったらたぶんそれは相当つらいと思うけん言わんことやな。ほうやって思うんやったら、自分が幸せな家庭を築けてることやね。他人に押しつけてもアカンし、この話をしよつたら、昨日水平社宣言の中に、祖先を冒^{ぼうとく}流するなっていうのがあって、それを吉成先生から聞いたんやけどね。祖先を冒^{ぼうとく}流するなっていうのも、自分が生まれてきた環境を嫌って思うんは、祖先を冒^{ぼうとく}流しとることじやって。今あるんは祖先のおかげなんやけん、



ほれは絶対してはならんていうことらしいんよな。ほれ聞いて、ちょっとオレも、ほうやなって。今までつないできてくれたおかげで今のオレがあるわけやし、みんながあるわけやろ。人とのつながりもあるわけやけん。やっぱり大切にしていかなあかんと思いました。ほなけんみんなも、人と比べるんはあんまりせん方がいいよ。ほんまに。人と比べたつていいことないんよ。自分は自分で思つとつたらいいやん。たとえ人から比べられたとしても、自分の方が優れとるとか、自分の中でもつとつたらいいんよ。これだけはゆずれんものつていうのを。そしたら比べられても腹立たんけん。オレめっちゃ言われるよ。暴露するけどね。体重、昨日計ったら85あったんですよ。ほんでバイト先の先輩から、お前デブやなとか言われるんですよ。ほんまに傷つくよ。けど、デブでも動けるし。バスケできるし。最近サーフィン調子に乗ってしよるし。動けるデブっすよ。ほれもちょっと自分に自信をもって。いや、デブでも動けるんすよつとつて、自慢にしています。ほなけん別に

悔しくない。^{しいた}虐げられるっていうん？悪い言い方したらね。でも別に苦ではない。逆にほねのけられる。ほら先輩やけんね、逆に言い返したらボッコボコにされるけどね。ほれは言わんけど。でもそういう自分をもっとつたら負けんね。ほなけん自分をもって貫いてほしい自分を。ほなけんここで悔しい思いしたら、まあ将来幸せになってやるとかって思ったら、高校入る子とかおるじゃないですか。その進路をちゃんと決めて、自分に従っていったら、絶対うまくいくけん。聞ってるよね。よく言われるのは、なるようになるさって言うやん。適当な人とか。ほんまにほれは思うけど、やっぱり自分をもってなかったら、なるようにはならんよね。あっち行ってこっち行ってだったら、絶対に悪い方向に行くんよね。やけん、芯を強く固めて、自分の筋を通していく。以上。助けてくれ(笑)。(吉成：以上?)以上。

吉成 以上だそうです。(拍手)まず自分が幸せになること。そこかな。それはすべての人に言えることやけど、まず自分が幸せに思えること、なること。それがあつたら、何でもはね返していけそうな気がする。そういう生き方をしていってほしいし、何でそう思えるかっていうと、やっぱり仲間の存在っていうかな。やっぱり一人だとそう思いたくても思えないこともあるかもしれないから、やっぱり仲間の存在は大きいんじゃないかなっていう、そんな気がするかな。じゃあ今話を受けて、2番手、iさん。今話を受けなくてもいいけど、自分の自己紹介に続いて、自分のことをお話いただけますか。お願いします。

パネリスト i 何を話せばいいのかよく分からなくて、話したいことっていっぱいあることない？決められた時間の中で何をどう出していけばいいか分らんやけど。この席順見

たときに、ここで分かれとんやなって思って。私の中では、jとkちゃんと、今日はおらんけどmちゃんもやけど、すごいしゃべれるイメージがあるんよ。一緒に並ぶことってあつたやん、実行委員しよつたときもそうやし、それ以外でも会とか参加したら。特に壁を感じるんよ。壁というか、差がある気がするんよ。すごいしゃべれるな、すごいなって。めっちゃしゃべれるな、すごいなって、懂れじゃないけど。特にkちゃんとmちゃんは、手の届かん存在のイメージが中2のときからずっとあつた。



パネリスト k けどうちやってな、いろいろ話したりするやん。このあとで話すけど、中高生集会とかのスタッフミーティングあるやん。スタッフミーティングのときに話しよつて、自分は言えなくなる。逆に考えすぎて、これ言つたらどうなんだろうみたいな。^{すいこう}推敲というか、考え直し考え直しして、結局言えんようちは。そこをみんな言うやん。やけんそれが、うちはみんなすごいなっていつも思つとうよ。お互いなんちゃうん、ほなけん。

パネリスト i 私はしゃべるん下手くそやけんな、あっち行ってこっち行ってごちゃごちゃ。

パネリスト j iはこっちのこと言よるけど、i自身もしゃべるんは上手いし、ごつていこの子自体聞く力はあるんですよ。ほんまに、人の意見を聞いて、自分の中に取り込んで、上手い具合に混ぜて、ちゃんと伝えてく

れるんね。聞く力があるけん、入りやすいんですよ言葉が。言ってくれる言葉が。正論やしね。口げんかしたら、はいすいませんて、速攻負ける。

パネリスト i 口げんかしたことないけん分からん。(j: ないな、仲いいけん(笑))こっからどう話もっていくんて話やけど。いろいろ書いとるけど、何話すか全然決めてなくて。昨日な、みんなで打ち合わせしよったやん。ていうても、ほぼほぼ自分らで話して、結局何話すかも決まらんまま、自分が心の中に思っったことパツて言っつて、「あ、時間や帰ろ」ってなつて終わつたんやけど。この会に参加したきっかけとか、そういう話をしよつて。そのときjに、「まあ参加しよる人で化ける子とかおるよな」って言われて。ここにおるしねつて、私のこと指して言つたんよ。化けるつて、化けたんかな? どんなふうにな?



パネリスト j 化けたつていう、ちょっとと語弊があるかもしれんけどな。成長していつたつて言つたらいいんかな。この子ね、2年生のときやな。中2のときから実行委員になつてつて、ほの時点で、kちゃんもまだやつたな。(k: 分からん覚えてない)副実行委員長になつてつて。オレ何もやつてなかつたな。あ、ちゃうオレ副か。失礼しました。副だつて。iを見よつてね、初め3年生の人かなと思つたんですよ。結構がっすりしとるつていうか、毅然とした態度で、物事もハキハキしゃべるし、3年生はやつぱちゃうなつて思い

よつたら2年生だつて、同い年でこんだけ違うんじやと思つて。ほのころから差は感じとつたんよな。たぶんほの1年間で3年生の人とかの姿見て、だいぶこいつ吸収しとるんですよ。いろんなどころ、いいところ。3年生同じ実行委員になつて、こいつ去年と違うなと思つて。やばいオレ負けとるぞつて思つて。結構反発というか反抗してガンガン言いまくつたんやけど、やつぱり負けとるよな。高校入つて、1年のときからかな。生徒会におつて、やつぱりこの子ね、行動力がすごいあるんですよ。ほんまに。尊敬する、そこは、それは。そこはつて言つたらアカン、それは尊敬する。ほの行動力があるからこそ、彼女はどんどん成長しよると思ふんよな。生徒会、この前も壮行会みたいなんがあつたんやけど、ほとんど、司会進行この子がしよるんですよ。1000人おるうえで、1人で司会進行しよる。すごくない? オレ無理よ、こうなる。ほれ考えたら、すごいと思ふ。中2、中3、高1、高2つて、段階を踏んで、すごい場慣れしていつたんよな。行動力があるけん、いろんなこと挑戦していつた。場慣れしていつて、今では1000人単位の所で、堂々とハキハキしゃべれるん。噛まんもんこいつ。ビックリするよ。素直にほめよん。尊敬しとるけん。普段言わんけん。教室でおるときも、ん何? みたい。ほめれるところはほめなな、人間伸びんけんね。ほめて(笑)。以上。

パネリスト i jもほめられるところいっぱいあると思ふけどな。(j: イケメン?) うん、イケメン。(笑) jとの絡みは中2のときからやけど、確か当時、マイク係しよつたんよ。私実行委員長で、2年生だつたんもあつたし、先輩らとの絡みもあんまりなかつたから、実行委員長の席の、一番端に座つてつて、彼はマイク係をしてつて、みんなが発表しよるときにマイク係つてすごいウロチョロするんやけど、誰かが発表しよるときつて、たいがいマ

イクを渡して、しゃがむか、近くの空いとる席に座るか、みたいな感じだって。あのとき確か、私の正面ぐらいに座った子が発表をしょって。実行委員長の席の隣ってたいがい空いとるんよね、副実行委員長が座る席とかで。で私の隣がちょうど空いとって。jがマイク渡して、暇やけてチョココンと座って。普通に発表聞きよったんやけど、そのときにいきなり話しかけられて。私のように知るとる人が、発表しよう子の隣において、ジーツと発表しよるん見よったんよ。その子がよく、目つきが悪いって言われる子だって。その人のことはjもよく知ってる人だって。jにポンポンて肩叩かれて、ん？て見てみたら、「なあなあ、あいつめっちゃ睨んでない？」って言われて、「え？いや何かいきなり声かけられて…まあ確かにそう見えなくてもないな」とか言って。一番最初の絡みがそれだったんよ。いきなり肩叩かれてじよ、「実行委員長とかしよんすごいなー」とかって、自分で言うんもアレなんやけど、当たり障りのない話するんかと思ったら、「めっちゃ睨んでない？」とか言われて、おーみたいな。そんなふうに話しかけられるって思わんやん。一番最初に話したんはそれがきっかけで、その会が終わってから、いきなり話しかけてきたおもしろい子やなとか思って、連絡先交換して、軽く話しょったんやけど。

私って、人権の会とかでもそうやし、教室とかでおるときもそうやけど、負の感情を集めやすいついていうんかな。集めやすいついていうんとはちょっと表現が違うかもしれんけど。悪口、陰口を聞いたりとか、人権の会だったら、例えばここだったらみんなしんどいこと吐き出したりとかってするやん。そういうん聞いたときに、ちょっと病んでしまうっていうもあつたりとかして。今ではあんまりないけど中学のときとかだったら、そういうときに誰かに電話して、「もしもしあのな、今ちよつとこうでな、ああでな」みたいな話

しょって。中学のときにまだ知り合って間もないjに電話かけたことがあって、しゃべんよったんやけど。最初、すっごい敬語使われよって、「あー、先輩、何たらかんたら」みたいに言われて。「先輩？同い年やけど」「あ、そうだったん、ごめん」みたいな。先輩と思われよったんやなと思って。誕生日的には年上やけど。たぶん電話したとき、それまで本大会でしか会ったことがなくて、メールとかでちよつとやりとりしよったかなぐらいの子にいきなり電話かけて悩み相談してみたいな。この会で出会った子には結構大胆にやれると思う。(j：気をつけろ、みんな狙われるぞ)誰に？(j：連絡先交換)いいねえ。いいけど、みんな年下やけん、私が言よつたら脅っしょうみたいな。みんなやさしい、それアカンタイプやな。みんなやさしいってことは、言われたときに、先輩に言われたけんやらなアカンみたいになるやん。それはちよつとどうかなって思うけど。でもね、ここの出会ってほんま大きいかもしれん。

kちゃんて、中3からの絡みやし。2年生のときは顔と名前知つとる、遠い存在、声もかけられん、どうしようみたいな。アイドル的なスターみたいなね。そんなイメージがずつとあって、3年生になって、一緒に実行委員長になったから絡みができたっていうんであって、もしどっちかが実行委員長してなかつたら、それこそ深い絡みができんかったかもしれんし。だって、実行委員長だったからあの4人は深くなつてつたつていうのがあるやん。ほなけんたまに3人とか、mちゃんも入れて4人で集まったときさ、みんな悩み相談しよつたり。こんなことがあって、あんなことがあつてみたいな。あの感じすごく楽しいし、自分的には落ち着くかなつていうのがあって。ここの繋がりって、一生の宝やっと思う。

あと何の話をしようとしよつたんだろ。大きいテーマで、jが家族の話をするって。朝、

どうする？どうする？って、パッパッパッて決めたんやけど。私は自分の個性の話をしようかなって思って。私は、友達があんまりおらんて言ったらアレなんやけど。深い関わりをする友達があんまりおらんのよ。j, 教室でおるときの感じ見たら何となく分かると思うんやけど。あんまり深い関わりの子とかおらんことない？私の性格的な問題もあるかもしれんのやけど、女の子との関わりっていうんが、あんまり深くできんかったりとかっていうんがあって。中学校のとき、悪口、陰口、めっちゃ言われよったけん。そこにちょっと引いとう部分があるんかもしれないけど。高校に上がると、異性との関わりって、何か減ることない？自分中学校まで、ずっと男子とばかり遊んでたから、高校に入って新たに友達つくるって結構難しかって。自分は、今いろんな部活に入っって、その関係もあったり、友達の友達と仲良くなったりっていうんで顔が広がってよく言われるんやけど。繋がり広いは広いんやけど、深い関わりをしとる人ってほんまに少なくて。jは1年ときも今もそうやけど、同じ教室で過ごっしよるけん結構近いんやけど。学校内にはあんまり親しい人はおらんな。そういうんもあって、こういう人権の会に来るんはすごい楽しい。ここの出会いで仲良くなった子って何でも話せるから楽しいなって思うし。だからみんなにも、そういう友達をここでつくってほしいなって思う。とりあえず以上でいいかな。長いよな、ごめんな。以上です。(拍手)

吉成 中高生集会のことについて、ちょっと言っておきます。この会のことは、通称中学生集会ってよく言ってるんですよ。中学生だけの人権の集会だから中学生集会。正式な名称で言えば、「人権を語り合う中学生交流集会」やけど、中学生集会って言ってます。で、この会とは別に、中学生と高校生が一緒になってやる人権の集会っていうのが徳島にはあり

ます。6月か7月くらいから毎年スタートするんですけど、12月くらいにこういう大きい会をするんですよ。中高生が集まって。それを中高生集会って言います。この会とはまた別の会になります。



今iさんが言ってくれたんですけど、みなさんのなかにももしかしたら、しゃべるのが苦手な人もいるかもしれない。そんなことない？しゃべるのが得意な人もいるだろうけど、苦手な人もいるんじゃないかなと思うんですね。この会とか中高生の集会に行くのは、例えばしゃべるのが得意な人しか行けないみたいな、何か錯覚みたいなものがあるんですけど、それは錯覚であって、実はそんなことを求めているわけではないわけです。得意な人が参加してくれるのは、もちろんそれはそれでいいんですけど、別にしゃべるのが苦手な人だって、全然いいわけですよ。しゃべるしゃべらないっていうのは全然判断基準じゃないんですね。iさんなんかは、そんなに雄弁じゃないですよ。そんなに雄弁じゃないです。中学校のときから。だけど人権には関心があって、ずっと参加してきているうちに、少しずつステップアップしてきたってことです。ほんとと少しずつやけど、ステップアップしてきて、今高校3年生になって、鳴門高校、今年甲子園にも出場した鳴門高校ですよ。その生徒会で頑張れているというところなんですね。だから、今みなさんのなかでも、「いやー私なんか」とかね、「いやーオレなんか」、「ボクなんか」みたいに思っている人がいるかもしれないんですけど、そんなこと思う必

要はない。自分のペースで少しずつ、頑張りたいければ頑張っていけばいい。そんなふうに思いますね。それがつまり、化けるっていうやつですか。初めっから化けたままの人もあるわけですよ。化けたままこの会に参加してきたkさん。中1のときからもうすでに化けていた。だけど彼女は彼女なりに、そんなに悩まないかっていうと、ないわけでもなくてっていうところなんですよ。そういったあたりの話もあるのかなって思うんですけど、お願いできますか。お願いします。



パネリスト k まさしく自分の今までの、中学校から今現在までの人権学習を通じた自分の話をしようと思って。中学校までの人権学習って、まあ言えばこの会に参加するのが主だったんやけど、中学校3年生でこういうふうにパネリストさせてもらったりして。昨日久しぶりにそのときの本を読んだら、こんなことしゃべったんやってすごいびっくりしたんやけど。そのときしゃべったんは、障がい者のこと話してって。自分の弟が2人おるんですけど、その一番下の弟がダウン症で、その話とか、自分のクラスにおった障がいのある子の話とかもしとったりして、そのときの自分はそのときの自分なりにいろんなこと考えて悩んどったんやなって気づかされて、思い出さされて。昨日。それとともに感じたんが、ほんまにいろんな大事なものを今失っとなではないかと。忘れとうとか。何がっていうと、中学校のときに、この会に来たら、純粹に自分の気持ちを言えたり、自分の悩みを言ったりとか、そういう

ことができる会じゃないですか、ここって。それでめちゃ楽しいし、何かもうありのままをしゃべる感じ。だけって言う言い方おかしいけど、ほんまに自分をさらけ出して話したけど、高校生になって、ちょっとさつきちらっと話が出たけど、中高生集会に参加するようになって。中高生集会ってどんなところかっていったら、まあ何人か見た感じ参加してくれたことがある子がちらほら。覚えとる?(笑)おったりするんやけど、中学生集会って、いろんな自分らの思いの丈とか、いろんなジャンルの話したりするけど、中高生集会って、テーマを決めて、それについて1年を通して勉強していくみたいな形にはなるんやけど。今まで自分は中学校2年の終わりぐらいから参加しだして、2, 3, 高1, 高2, 高3とずっと参加しとんやけど。例えば在日コリアンとか、在日外国人のことをテーマにしたときもあれば、LGBT+とかセクシャルマイノリティのことをテーマにしたり、部落差別のこととかもやったしって感じかな、うちらがやったんは。2年とか続けてやったんやけど。まあ言ったら、社会の状況、例えば法律だったりとか、歴史とか、なんでそういう差別が今あるんかとか、そういうところまで掘りさげて勉強して、さらにかつ自分たちは、その中高生集会のスタッフっていう立場になつとるんやけど、まあ言えば、来てくれた人に対して、場を回すって言う言い方がいいんか悪いんか分からんけれども、リードしていったりとかするような役割をするために自分たちがめちゃ勉強するみたいな感じでやっていきよんやけど、勉強するなかで、どうしようもない社会のルールとかのせいで、差別とかが生まれとったりとか、行動が規制されるっていうか。例で言ったとしたら、LGBT+とかの例で言ったとしたら、同性愛者の結婚がちょっと難しいだったりとかって言うのは、本人たちの気持ちだけでできるできんの話じゃなくて、制度とかいろん

なものでできん、どうしてもできんていう部分があったりとかして、そういうのがいっぱい、もうどんな問題でもあったりとかして。そういうのに当たる度に、何でやねん！てなって、ほんまにもうおかしいやんこれ！てなって。



ちょっと話飛ぶけど、中学生のこういう人権集会って、言えば感謝の会。感謝とか幸せとかっていうのが自分のなかではイメージとしてすごいあるんよ。けど中高生集会は、憤りを感じることが、すごい怒りとか、そういう気持ちがすごいいっぱいあったりとか。何か知らん間に自分がたぶん変わってきてしまったんだろうなって思うんやけど。何かそういうイメージがあって。もちろん中高生集会も大好きやし、その中高生集会に来てくれるみんなのことは大好きなんやけど。やっぱ自分で変わったんかな。どうなんだろうな。でもこういう差別だったりとか、いろんなものと、これからどんどん社会に出ても、もっともっといろんなことが見えてくるだろうし、いろんなことにぶち当たっていくんかなって思うけど、そしたら絶対にいろんな問題が出てくるやん。たぶん自分の力だけではどうしようもできんこともいっぱい出てくると思うんよ。まあ何か変えられるんだったらいいよ。それを。自分の力で。だけど、それができん場合とかあるやん。それをどうしたらいいかっていうんは、今ははっきりと答えは出んかったとしても、今は自分たちはそれを勉強したり、知ったりしたりしよる段階ってことやんか。高校生の自分としてな。今何が言いた

いか分らんようになってきたけど。

自分は高校生になって、学校のちょっと具体的な話になるけど。北高の制服なんやけど、うちが高1のときに、今自分スカートはいとるんやけど、生徒総会っていうやつがあって、全校生徒が集まって、そこで意見が出て、そこでいろいろ改革、言い方大げさやけど、改革していくみたいなやつがあって。それで北高のズボン、女子がズボンはけるようにしてほしいみたいな意見が出たときに、ある人が、「だったら男子もスカートはけるようにしたらいいんじゃないですか」っていうことを言ったんよ。ほしたら、めっちゃ笑いが起きるみたいな、そんな悲しい状況があったりとかして。結果まあいろいろ云々かんぬんあり、ズボンは完成一応したんよ。だけど、そのズボンが、女子がはく用のズボン。だから男子のズボンと別物。まったく形が違うんな。男子はストンてしとんやけど、女子は、ツルン、ストンみたいな。ちょっと体のラインに沿った形みたいな、ていうんができとって。生徒総会に出したときのいきさつっていうのもいろいろ複雑であるけん、ちょっと仕方がなかったかなって思うんやけど、もし当事者からしたら、女子用のズボンて、その時点で女子って決めつけられとるわけやん。女子がはくズボンやけん。男子用のズボンがはきたかって、女子用のズボンしかはけんていう。ほんまの趣旨、やりたかったことと違うような感じになっったりとかして、とかまあいろいろありまして、うちは先生とかに、ほんまはこうなんですよとか、こういう思いがあるんすとかいうことを先生に伝えたりとかすごいしよったんやけど、先生たちも頑張ってくださったりしとう人もおったけど、なかにはすごいお堅い先生っていうか、「いやこれはこうだから」とか言われたりとかして。根本的に考え方が違う人がいっぱいいたから、全然話が通じなかつたん。ほなけん話にもならんし、何か自分の立ち位置的は、北高

内でやいやい言ってくるちょっと面倒くさい生徒みたいな感じでちょっと思われてしまったと自分では思う。だってそうやもん。(笑)そんな感じで、高2になっても、今度は生徒総会で、普通の基準の制服が男子はネクタイ付けて、女子はリボンなんやけど、女子もネクタイ付けられるようにしてほしいって意見が出て。それに対して、いろいろありまして、結局どうなったんかよく分かってないんやけど、うやむやにされてしまって、前から付けられましたよみたいなことを急に言われたりとか、先生の話が変わるんよコロッと。さっきまで言よったん何なんと思ったりするんもあったんやけど。何かこう、ないようにならないように、問題を潰^{つぶ}そう潰^{つぶ}そうと学校がするようなどころがあったりとかして、それでもうちは先生に話し続けたりとかしたところもあったりして。高校生になったら、全然授業で人権学習とかなくなるわけよ。学ぶ機会が全然なくて。こういう中高生集会に来とうちらは、すごい結構知れるんやけど。ほんまに機会がなくて。他のクラスの子とかLGBT+とか聞いても、「何？」ってほんまに言よったぐらいやけん、全然知らなくて。自分らがプロフェッショナルってわけではないけど、知識において。まだまだ自分らも学びたりないこともあるし、どんどん情報も変わるし、もう追いつくんに必死なぐらい。もうどんどん変わるけん。けどそういう悪い状況になつとることに対して、差別が生まれるような状況になつとることに対しての根本的な部分に対して、学校が何もしてくれなかったっていうか、できんかったんかな。それでいろいろあったんやけど、うちは何とかしたいっていう思いがあって。実際カミングアウトになるけんあんまり言えんけど、身近にすごい大事な人がその当事者であったりとか、いろいろあったけん、余計に本気になったっていう部分もあるんやけど、ほの子に非がいくんはちょっと避けたいけど、自分だったら

なんぼ非がきてもいいみたいな気分だったけん、気分ていうかそういう思いだったけん、先生に何言われても自分はいけると言って言ったりとか、友達とかな、みんなの力とかもいっぱい借りとかしたけど、中高生集会のみんなの力も借りたけど。何が言いたいかという、高校になってからはすごい闘いみたいな感じがする。自分のなかの人権活動が。ほんまに、すごい自分やいやいようになって思うんやけど。やけん中学生のこの場が、落ち着く場でもあるし。だからこそな、ていうんもあるし。なんかみんなすごい大好きってなる。(笑)でも自分はこれからも、たぶん自分にしかできんこともまだまだいっぱいあると思うし、巻き込んでいけると思うけん、もっともっというろ頑張っていきたいなって思っている所存でございます。(笑)



吉成 はい、ありがとうございます。つくづくね、やっぱり思ったことが言えるっていうのは大事やなど。もう一つ踏み込んで言えば、おかしいことを、それおかしいんじゃないのと言えることの大切さ。大事さ。ていうのを思わせられたかな。今のまま大人になってほしいですね。大人になるとしおれていくみたいな。中高生のときあれだけ元気だったのに大人になったらしおれていくみたいなところが、残念ながらあるんやけど、それでもそのまま大人になってほしいかな。3人だけに限らずフロアのみなさんもそうなんやけど、それぞれの学校とか学年とか学級で、人権学習をしてるし、してきたと思うんですよ。例えば水平社のことについて学習し

てきた人もいると思うんですね。水平社のことについて学習してきた記憶のある人ってどれくらいいる？は一い。水平社のことについて。それじゃあ今手が拳がった人は分かるかもしれないけど、手が拳がってない人も、何かの機会に恐らく勉強することがあると思うんやけど。水平社ができたのは1922年よな。身分制度が終わって、いわゆる解放令っていうのが出たのが、1871年。約50年くらい間が空いてる。解放令が出たこと自体は、すごく評価はできるんだけど、それが直接差別を無くすことにはつながらなかったから、水平社をつくった。50年間みなさん闘えますか？みなさんどうですか？50年間闘えますか？今から50たしたらみなさんいくつぐらい？その歳まで、一つのことに集中して闘えますか。けどそれをしてきたんですよね。それをしてきたんですよ、当時の人たちは。そういう学習を、水平社のことを学習してきたみなさんは、その学習をしてきたはずなんですよ。だったらですよ、そうならば、今日明日変わらないことをとやかく言ってもね、仕方がないでしょ。今日明日変わらないことだってありますよ、そりゃ。そう思うんですね。私たちは何を学んできたのかっていうことを、今あらためて考える必要があるような気がするんです。そりゃ早くなくせた方がいい。どんな人権課題も、どんな差別も、いじめも。今すぐなくせたら、そんないいことはない。



けど、なかなかそうはいかない。となったら、粘り強く、諦めない。そして先人に学ぶ。歴史に学ぶ。っていうことを、本当はしっかり

していかないといかんのだろうなって思うんです。けどそれも、一人の力じゃ、やっぱり人間て弱いですから、あきらめなくなるよな、実際言って。先生がはぐらかしたり、先生が知らんぷりしたりされたら、嫌にもなるし、もう考えたくもなくなるかもしれないけど、それでもやっぱりあきらめないって思ったら、仲間や友達存在っていうのが、そこで必要になってくるのかなって思うんですね。そういう仲間だなと思うんです。この仲間はね。



私がしゃべる時間ではないんですが、最近すごいなって思ったのは、ICANなんです。ICANてわかります？核兵器廃絶国際キャンペーンかな。昨年ノーベル賞を受賞した団体です。核兵器が落とされて今年で73年。その間ずっと、何らかの形で活動・行動してきて、やっぱり核兵器はなくしたいと。なくさなアカンと思って活動してきたものの、なかなかなくならない。いまだに地球上に1万5千発といわれる核兵器があつて。けどあきらめたくなくて、ずっと活動続けてきたことが評価されて、ノーベル賞を昨年受賞した。じゃあノーベル賞を受賞したら核兵器がなくなるのかっていったら、そうじゃないんですよね。ノーベル賞を受賞することは素晴らしいことかもしれないけど、だからといって核兵器がなくなるわけでもない。けどそれを手がかりにして、各国にはたらきかけていきながら、それこそはたらきかけていきながらですよ。一つの国、一つの国、一つ一つに声をかけていきながら、核兵器禁止条約

を批准ひじゅんしませんか、参加しませんかっていうことを粘り強く取り組んでいる、あの人たちの取り組みを見てるとね、こんな所で立ち止まっている、踏みとどまってる場合じゃないなって。まだ何か頑張れるぞ、何かまだ頑張れることあるぞって思ったりしたんですね。もっともっと学ぶべきことはたくさんあるのかもしれない。みんなで知恵を出しながら、いろんな方向から考えていきたい、考えていけたらなと思っています。

もう半が過ぎたんですけども、このあと、みなさんからいろんな感想とか、意見とか質問をもらいながら、12時までの時間を過ごしたいなと思うんです。どんな方向から話をしてくれても、どんな方向からの質問をしてくれても構いません。もちろん感想を言ってくれたのでも構いません。それぞれに三者三様の話をしてくれたと思うんです。それに応える形で、それぞれの思いを感想として述べていってもらいたいなと思いますので、3人のみなさんは準備をしておいてください。それからフロアのみなさんも、このあと積極的に発言をしていってもらえたらと思いますので、司会のお2人、このあと進行をよろしくお願いします。

司会 どうもありがとうございました。では残りの時間、感想や質問、意見交換を行っていきたいと思います。マイク係として松茂中学校3年のnさん、松茂中学校3年のoさんの2人がフロアをまわります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくをお願いします。

城ノ内中学校 1年 p kさんに質問で、制服改革のときに、中高生集会の人たちに支えてもらったって言ってましたけど、具体的にはどういうふうに支えになっていましたか。

パネリスト k 高校の生徒総会で、制服を変えるっていう案を出した人たちっていうのは、中高生集会に行っったスタッフのメンバーがほとんどなんやけど。やから前からそういう案を出すよっていうところから、中高生集会のみんなでちょっと考えたりっていうところがあって、その案を出してからっていうのも、スタッフミーティングとかのときに、今こういう状況でみたいなことをしゃべって、みんなで考えたりとか、考えるだけがすべてじゃなくて、話聞いてもらうことによって勇気づけられたりとかもあるし、仲間がおるんやって実感するだけでもめっちゃ大きい力になるけん、そういう形で助けてもらったなって感じがする。何か、自分が活動を学校とかでするにおいても、まったく一人じゃないって感じがするんよ。すごい仲間というか、後ろに絶対おるみたいな、絶対的な信頼がある仲間がおるって感じがするけん、まあそんな感じで助けてもらっとる。(拍手)



司会 ありがとうございました。他に質問や意見はありませんか。

土庄中学校 3年 q 感想なんですけど、前の4人の感想とか意見とかを聞きよったら、ちょっと恥ずかしいけど格好いいなって思いました。ありがとうございました。(拍手)

吉成 格好いいんだそうです。よかったですね。

松茂中学校 3年 b 3人の先輩の話の聞いて

て、私がおじいちゃんに、こういう集会に来てって言ったときに、差別とかそういうのについて大きく取りあげて話をする方が差別じゃないのかって言われたんですけど、3人の先輩の話聞いて、こういう会のおかげで差別についても知ることができるし、大切な仲間ができるようなことがあると聞いて、この会にもうちょっと卒業してからも来たいと思いました。ありがとうございました。



吉成 ぜひ中高生集会にスカウト、どうですか。

土庄中学校 3年 r さっき話の中でiさんが、人権集会に参加してステップアップしていったっていう話を聞いて、自分にすごく共感できる場所があった。最初、3年ぐらい前の自分は、本当に親しい人とか、昔からの知り合いの人とかしかしゃべれないような感じだったけど、人権集会に参加していろんな人の前で意見を言うようになって、クラスで自分の意見を言ったり、全校生の前で自分の意見を言えるようになったので、やっぱり人権集会に参加することは大事だなと思いました。

大麻中学校 3年 s 3人からの意見を聞いて感想なんですけど、いろんな学校とかこういう場で、勉強して意見をもつことは大事だし、みんな意見をもってると思うけど、その場だけで意見をもって伝えて終わらずに、勉強し続けていくことが大事だと私は思いました。そのなかで悩みとか自分のさらに出た深い意見とかは、家族よりも自分をさらけ出せ

る、この会に来た仲間とかにいろんな意見を交換して、高め合っていくっていうか、そういうことができたらいいなと思いました。

吉成 だからいつまでもつながってほしいんですよね。中学校のときだけじゃなくって、高校生になってもつながってほしいし、高校卒業していても、つながってほしいなと思うんですね。そういう場合は必ず本当にあるから、そういう場をお互い共有するっていうことは、大事にしてほしいと思いますね。

城ノ内中学校 1年 t k さんのお話を聞いて、差別とかに憤りを感じることで、すごく大事なことだと思うし、身近にある問題に真正面から立ち向かっていく姿はすごく格好いいと思いました。

城ノ内中学校 1年 u 私は3人の先輩の意見を聞いて、自分の心の中の意見などを考えて、目標に向かって走っていく姿がとても格好いいと思いました。私は自分の意見を考えるのがとても苦手で、その悩みとかを誰かに話すとかがとても苦手で、jさんのことを聞いて、人権を語り合う中学生交流集会のような自分の悩みとかを聞く場がとても大切だということが分かりました。これを自分の目標などにして、これからも頑張っていきたいです。今日はありがとうございました。



城ノ内中学校 1年 v 3人のお話を聞いて一番最初に思ったのは、さっきの方と同じで

格好いいなと思いました。ずっとつながっていられて、仲がいいんだなと思いました。私もこの集会を通して、みなさんのようにずっとつながってられる友達ができたらと思いました。お世話になりました。

板野中学校 3年 w k さんのお話を聞いて、私は今まで人権学習とかしてきたけど、自分ではどうしようもない大きなきまりみたいなのは、やっぱり自分的には正直、「これってやっぱり変えれんのかな」とか、「大きすぎて変えれんだろうな」とか、「変えるには大変そうやけん、やっぱり正直自分弱いけん気が引けるな」とか思ったりすることもあるんですけど。自分の意見とかを言って、私は今まで人権学習っていったら、今ある人権とかを守っていくやつかなと思ってたけど、今も社会にまだそういうきまりとかあるんだったら、やっぱりみなさんみたいに意見とか言ったり、それおかしいやろって憤り感じたりすることが大切やなって思いました。ありがとうございました。

瀬戸中学校 3年 x 3人の先輩のお話を聞いて、この中学生の交流集会や中高生集会などの人権を学べる機会の大切さをあらためて実感しました。これから私も3人のように、いろんな人権問題をたくさん学びたいなと思いました。ありがとうございました。

松茂中学校 3年 y 3人の先輩方の話を聞いていて、私はこういう人権学習とかをしている間は、人権問題とかそういうのに真摯に^{しんし}取り組んでいきたいと思うんですけど、普通に過ごしている間に、卑屈な考え方をしてしまうときもあって、普段から先輩方が人権問題にちゃんと真正面から向き合っていて、しっかり考えて取り組んでいるところがすごいなと思いました。

吉成 何かちょっと違う方向に行っていない？そんなすごい？美化されてない？ちょっと違ってよ。

パネリスト j 前の子が言ってくれたんやけど、友達をつくっていきたくって。こういうね、自慢じゃないけどね、自慢？つくっていきたくっていうんだったら、やっぱりまずは自分のことを話さな。思っどることを。ちゃんと伝えて、相手にキャッチしてもらおう。ほしたら次は、逆に相手の伝えたいことを自分がキャッチする。そういう繰り返しをしようたら、ほんまにいい友達ができる。OK？がんばって。



松茂中学校 3年 a 私はkさんの意見を聞いてて思ったんですけど、私もLGBT+とかの人たちに対しての差別にちょっと興味とか関心があって調べたりしてて。今日の作文でもそれについて発表したりするんですけど。私も友達なんですけど、男性とかでもスカートはいてたり、そういう人を1回見たことあって、街中で。それで友達が、「あの人男の人のにスカートはいとる」って言ったから、「はきたいん違うん」って言ったんですよ。そしたら、「なんで？気持ち悪いやん」って言ったんですよ。それはその友達の考えなんですけど、それ聞いたときに、その友達結構大事な子なんですよ。結構好きだった子なんですけど、ちょっとイラッじゃないですけど、ちょっと傷つくみたいな感じ。この子のその部分だけは嫌だなって思って。普通の私服だったらどんな格好でもできるじゃないです

か。本人が本気でやりたいと思えば。でも制服とか、ちょっと公式な場とかフォーマルな場所でそれしたら、否定されるじゃないですか。高い確率で。男性がそういう場でスカートはいたり、女性がズボンはいてするのはおかしいとか、制服では女性はスカート男性はズボンみたいなのがありますけど、それって実際、本当にその服装が嫌な人たちから見れば、少なくとも学校にいる間、フォーマルな場にいる間は、男装しろ女装しろと言われてるのと似たような感じだなって思ってた。たぶんそれを言ってる人たちに、じゃあ学校にいる間とかフォーマルな場にいる間は男装してください、女装してくださいって言ったら、絶対嫌だって言うと思うんですよ。だから自分が嫌なのに、それが当たり前だからって押しつけてるって、ちょっと嫌だなって思ってた。私とか正直スカートが大嫌いなんです。だから私服とかはずっとズボンでいて、あんまりフリフリの服とか好きじゃなくて。でもそれを言われたら悲しいんですけど。ちょっとグダグダになってきたんですけど。そういうのを言ったら、おかしいってだいたい言われるから、言っちゃいけない言っちゃいけないみたいにずっとやってたんですけど。生徒が集まる場所で言ってたって聞いて、ちょっと勇気が出たというか、そういうふうに言えるようになりたいって思えて、ありがとうございます。ごめんなさい、グダグダになったんですけど。(拍手)



パネリスト k ちょっと言っていていいですか。まさにそういうことっていっぱいあると思う

し、服装じゃなく、好きになる人の性だった



りとかもいろいろとか。どんな分野においても、どんなことにおいても、おかしいん違うんって言われたりとか、しょっちゅういっぱいあると思うんやけど。言ったら、性って多様性すごいやん。いっぱいいろんな人がおって。たぶんうちが思うに、どんな人も全員同じなわけないやん。全員違うやないかと思うわけよ。ほなけん少数派、多数派とかいうんでもなく、みんな個々、個人個人として見るんがうちはいいなと思うんやけど。そのなかで、当事者であるかないかにしても、自分以外の、自分にはないものをもった人のことを、ちょっと気持ち悪いか思ったり、おかしいと思ったりしてしまう、おかしいはちょっと違うか。気持ち悪いか思ってしまうんは、言ったら、その人がそう思ってしまっるとる限りどうしようもないというか、そういうふうに思ってしまう人もおるけど、それを気持ち悪いからといって突っぱねるんじゃなく、そういう人もおるんやっていうことを認めるっていうんかな、認めてっていうことが、いろんな人がおる社会に行くには大事なん違うかなって思っと思って。分かり合えるとか理解し合えるまでは難しい話やと思うんやけど、認め合える社会になっていけたらいいなとちは思っと思って頑張ろうと、さっき聞いて自分も頑張ろうと思ったけん、ありがとうございます。頑張ろうな。

吉成 一つの価値観しか認められない社会っていうのは、やっぱり生きづらい、しゃべりづらい、そういう社会のような気がするのよ。

例えばさっき、差別を言うから差別がなくならないっていう話をしてくれたよな。厳然とあるわけやから、あることをなしにはできない。あることをないことにしてしまうからおかしくなっちゃうんであって、やっぱりあることはあることとして、じゃあそのスタートに立ってどうするのかっていうことを、みんなで考えていこうよみたいな、そこにみんなで立ちたいかな。いろんな価値観が認められるっていうか、何を言ってもいいんだよっていう、そこにやっぱり立たないと、始まらない。それだけ、今人権の文化ってまだまだ低いって私は思ってるのよ。すごく人権の文化が低い。人権意識が低い。これはもう本当にどうしたらいいんだろって、頭抱えるくらい低いような気がする。それはもしかしたら世の中も、学校も、私たち自身も、私たちの周りも。何とかやっぱりそこを変えていきたいのよね。だけどそのためには仲間が必要だし。変わらないって決めつけてしまうんじゃないかって、どうしたら変えられるんだろってことを、それこそさっきの水平社創立の話じゃないけど、歴史から学ぶっていうところから考えていきたいなと思いますね。他はないかな、司会の人。

松茂中学校 3年 y aさんのを受けてなんですけど、女性が男性的な格好をしていたらボーイッシュで済まされるじゃないですか。でも男性が女装をしていると、やっぱりそれはおかしいとか気持ち悪いとか言われますよね。私も男性が女装をするのはちょっと抵抗はあるんですけど、やっぱりなんかそういうのも、それがその人だっていうんで受け入れていきたいとは思ってます。差別とかっていうのは、別にみんながそういうものだみたいな感じで受け入れたら、すぐにパッとなくなりそうな気がするんですけど、やっぱりそうやってずるずる残ってるっていうのは、受け入れられない人がたくさんいるのかなって思

って。あるがままを受け入れるっていうこと、そんなに難しいのかなっていうので、私はやっぱりいろんなことを受けとめられる人になりたいなと思いました。



パネリスト k 一瞬いい？いける？最後に。

(吉成：あとの二人はいいですか？kさんに任せますか？はい)ごめんよ、時間も申し訳ないんやけど。さっきから出よる中高生集會ってやつなんやけど、徳島県の人しか参加できんのやけど、板野郡？ここって板野郡？中高生集會っていうやつがあって、もしかしたら学校によれば情報が入らないっていう可能性が高いんですけど、もしよかったら、もっと学ぼうとか、もっとやりたいとか、何か感じてくれたんだったら、もし良かったら中高生集會の方にも来てもらって、スタッフ云々かんぬんは置いといたとして、とりあえず来てくれるだけでも、1回でもいいけん、どんなところかちょっと来てくれたら嬉しいなって思います。みんなが来てくれることがめっちゃくちゃうちは嬉しい。高校生の人とも話ができるけん、よりいろんなことが知れるきっかけにもなるし、いいと思います。(吉成：その情報はどうやったら？)先生に、たぶんここに来てくれとる先生に、行きたいんですけどって言うてみて、もし知らんのやけどっていうんだったら、うちらがだいたい何か教えることができるので、まあ吉成先生に言うて。(笑)

吉成 一番情報入ってこないんですけど、私。各中学校の人権教育主事の先生は必ず知って

るはずなので、各学校の人権教育主事といわれる立場の先生に相談してください。



司会 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後にもう一度拍手をお願いします。（拍手）

さて、この後昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引き替えを行いますので、代表の方は受付をした場所へお越しください。なお基本的にお弁当は、会場内で食べてください。食べた後の入れ物は受け取り場所まで返却してください。また後から来られて受付をされてない方も受付へお越しください。まだ名札をつけてない方は、名前が分からないので、この後、受付で作り、必ずつけておいてください。

それではお互いに交流し合いながら食事をし、お昼のひとときをお過ごしください。なお午後の部の開始時刻は 13 時です。遅れないように元の場所に集合してください。よろしくをお願いします。それではいったん解散してください。

